



いのち・絆・学び

山辺町立山辺中学校 学校だより 令和元年9月25日 第8号 文責：校長

全国学力・学習状況調査結果

恵まれた環境での充実した学びで学力向上

4月18日に3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が届きましたのでお知らせします。全国や山形県に対する本校の平均正答率は右下表の通りです。全ての教科で県平均・全国平均と比べて上回るかやや上回っており、これまでの小中連携で取り組んできた学力向上対策や、保護者の方々からの本校教育に対するご理解とご協力のお陰で、このような優れた成果となって表れています。今後も、生徒の「生きる力」の育成のために全職員が一丸となって取り組んで参ります。保護者の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

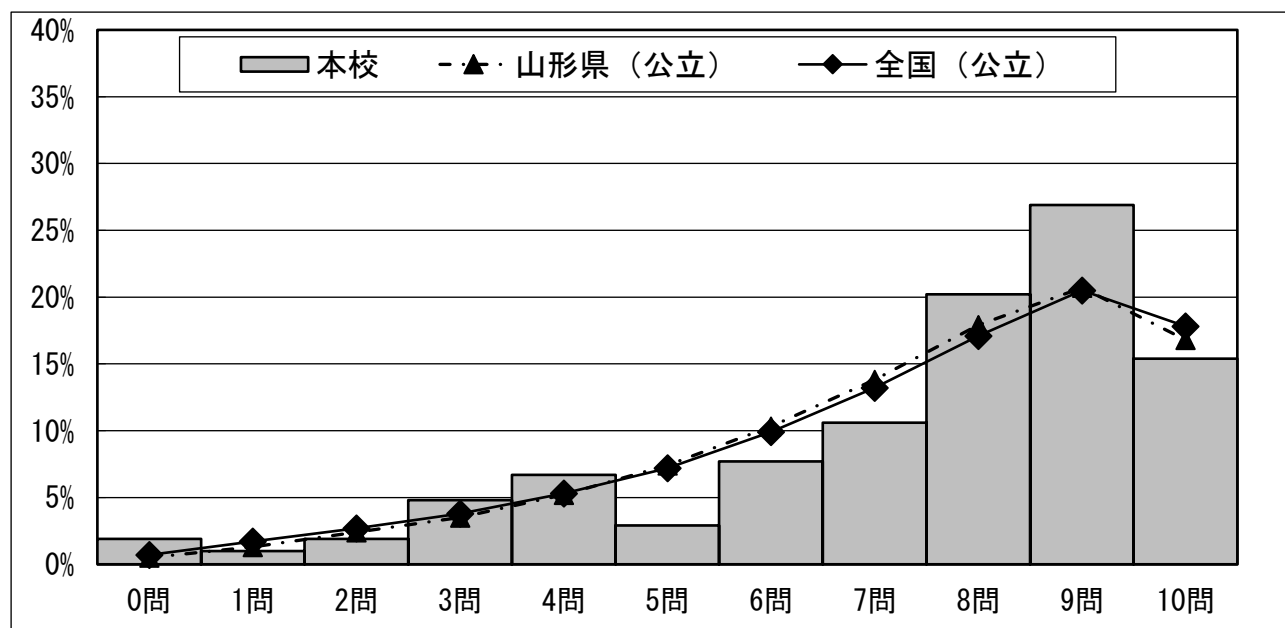
なお、この調査結果により測定できるのは、学力の一部分であって、学校における教育活動の一側面です。学力の全てを網羅し測定したものではないことをご理解下さい。また、今年度の問題内容は、昨年度まで実施していた、主として「知識」に関する問題：Aと、主として「活用」に関する問題：Bを合わせた総合問題になっています。

教科	全国	山形県
国語	○	○
数学	◎	◎
英語	○	◎

- ◎ 上回っている
- やや上回っている
- ほぼ同じ
- △ やや下回っている
- × 下回っている

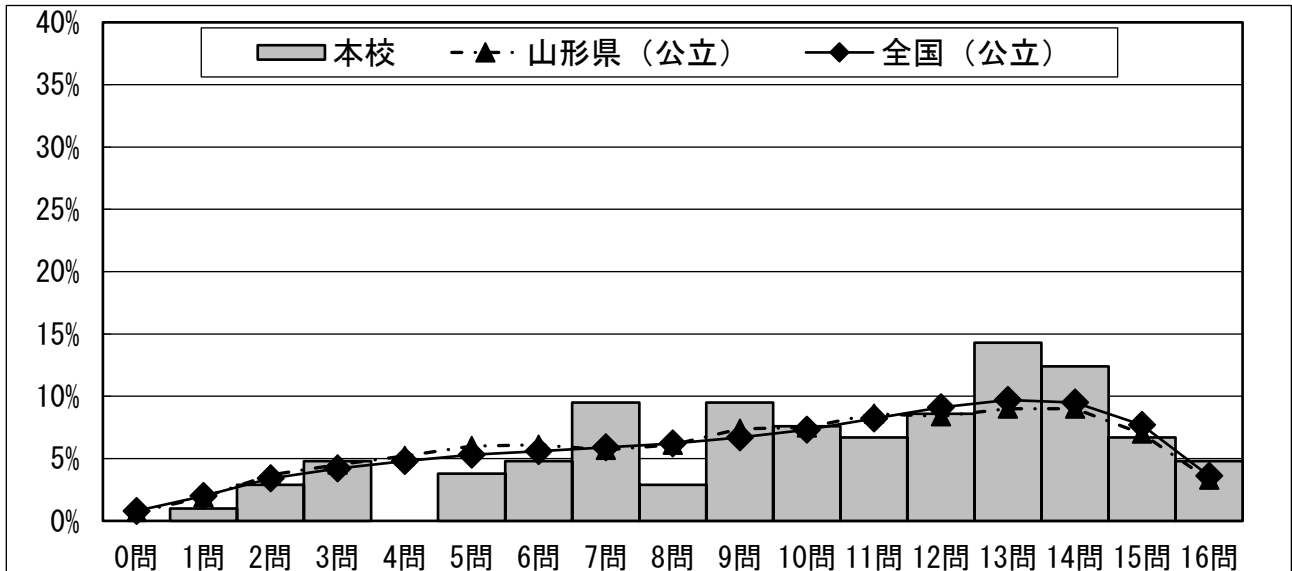
〔国語〕

国語の正答数分布図は下のグラフの通りです。正答数が8・9問の分布が多い反面、5～7問の分布が全国・県に比べ少ない状況です。0～2問の生徒の基礎的な力の底上げと共に、中位層の生徒のレベルアップが課題だと考えられます。



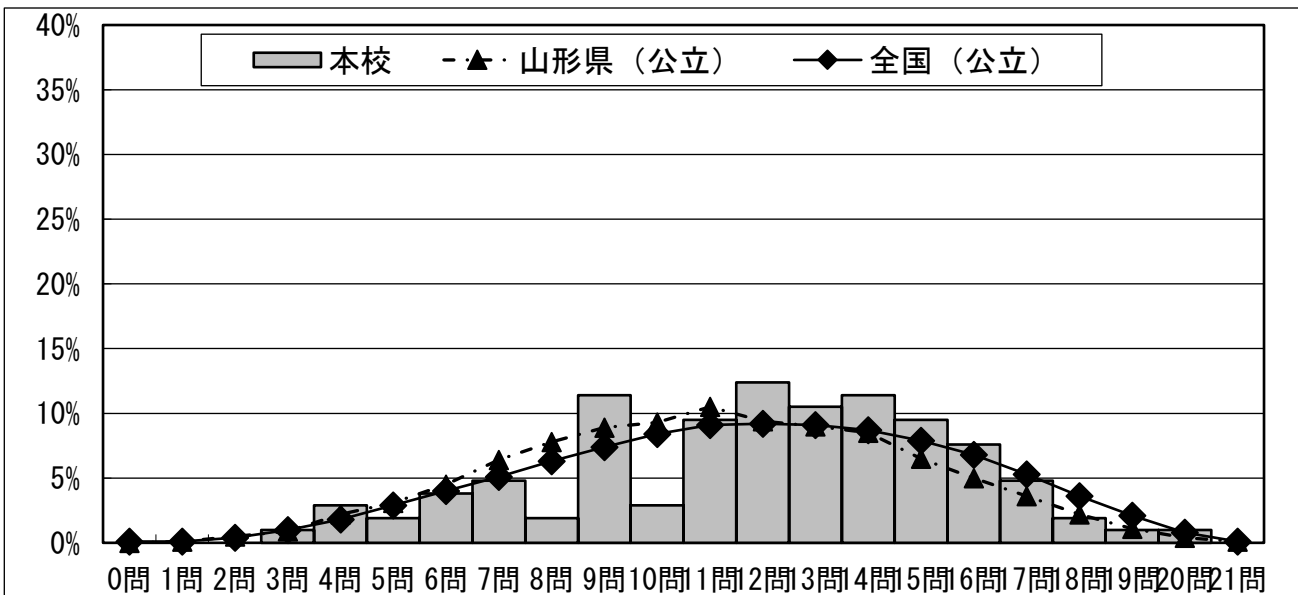
〔 数学 〕

数学の正答数分布図は下のグラフの通りです。上位層に位置する生徒が全国・県の平均分布より多い状況であるのが分かります。中間層は、上回っているところと下回っているところがあり、全体としては概ね良好な状況であると観ることができます（平均正答率が全国・県を上回っている）。今後は、それぞれの生徒の課題を洗い出し、個々の力を確実に付けていくことが重要と考えています。



〔 英語 〕

英語の正答数分布図は下のグラフの通りです。分布の最も多いところが12～15問の中間層であることが分かります。今後0～5問の生徒の基礎的な力の底上げと合わせて、上位層の生徒の力を引き上げ、全体的にレベルアップしていくことが課題です。



3年生については、お子さんを通して、全国学力調査（国語、数学、英語）の個人結果が記載された個票を配付しました。各家庭でご覧いただき、今後の学習に生かして下さるようお願いいたします。また、一緒に調査しました全国学習状況調査の結果は、どの質問事項が全国と比較して優れているのか、課題となるのはどの質問事項かなど、現在分析中です。また、2年生において実施した県学力等調査についても分析中です。後日改めてお知らせ致します。

今週末からは、先日行われた陸上競技大会に続いて、各種競技の新人大会が各会場で行われます（会場等は、先日配付した組合せ表をご覧ください。）。フレッシュな活躍を期待しましょう。